



失敗しても成長できる！

校長 西澤 武

新年明けましておめでとうございます。

年始にあたり、いろいろな目標や決意をもって2021年を迎えたことと思います。一日一日を大切に過ごし、感謝の気持ちをもって、友達と仲良く活動できることを期待しています。また、自分の命を大切にする行動を取り、友達を大切にし、心も体も成長して欲しいと思います。

今年の干支は「丑年」です。「丑」は中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の意味が与えられたそうです。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

コロナ禍の現在にとって、まさにふさわしい年です。みんなでこの状況を耐えながらも、次の発展のチャンスを信じ進んでいきましょう。

さて、みなさんはSMAPの元リーダーの中居正広さんをご存知だと思います。SMAPを解散した現在もテレビ番組の司会として活躍されています。その中居さんがあるテレビ番組の中で、「**誰しも成功は約束されていなくても、成長は約束されているんじゃないでしょうか。たとえ失敗しても、“成長”だけは、絶対に約束されていると思っています。**」と話していました。なるほど、成功すれば、それは成長したことを意味するかもしれませんが、たとえ失敗したとしても、そこに至るまでに考えたこと・工夫したこと・試したこと・経験したことなど、全て自分の成長の糧となるということです。例えば授業中、算数などの問題に対して勇気をもって手を挙げ答えたところ不正解だったなんて経験は誰しもあることです。挙手するまでに頭の中で試行錯誤して考えたり、隣の子と相談したり、グループで話し合ったりして、結果として不正解だったとしても1つの答えを導き出したこと全てが自分の成長に繋がるのではないのでしょうか。

私も担任として、副校長として、校長として、成功した経験よりも、むしろ失敗した経験の方が多かったと思います。しかしながら、これまでの様々な失敗を重ねてきたことが全て自分自身の成長に繋がり、現在があるのかもしれない。（などと都合良く考えたりする自分がいます）（笑）

お正月、美味しいものをたくさん食べ、体も少し成長したかと思います。ぜひ、心の成長のためにもお子さんに「失敗してもいいんだよ。いろいろ考えて、いろいろ経験して成長していくんだよ。」と植物に水をやるように、お子さんにも愛情たっぷりの言葉をたくさん掛けてあげてください。